



平成 27 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社アウトソーシング
 代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 土井 春彦
 (コード番号：2427 東証第一部)
 問 合 せ 先 取 締 役 副 社 長
 役 職 ・ 氏 名 経 営 管 理 本 部 管 掌 鈴 木 一 彦
 電 話 03-3286-4888 (代表)

平成 26 年 12 月期通期連結業績予想値と実績値との差異
 及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成 26 年 2 月 13 日に発表いたしました平成 26 年 12 月期通期(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)の連結業績予想値と、本日公表の同実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成 26 年 12 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

なお、剰余金の配当については、平成 27 年 3 月 25 日開催予定の第 18 期定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 業績予想値と実績値との差異

(1) 平成 26 年 12 月期通期連結業績予想値と実績値との差異(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	61,300	2,000	2,050	1,060	72.95
今回実績 (B)	59,421	2,010	2,197	1,316	89.81
増減額 (B-A)	△1,878	10	147	256	16.86
増減率 (%)	△3.1	0.5	7.2	24.2	23.1
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 12 月期)	47,384	1,202	1,357	1,122	77.54

(2) 差異理由

平成 26 年 12 月期の当社グループの業績につきまして、海外において発生したタイのクーデターや香港のデモ等の影響を受けましたが、当社グループが海外展開するうえでの想定されるリスクの範囲であり、また、国内でも消費増税の影響を受けたものの、好調な IT 分野等での営業推進により、売上高及び営業利益は平成 26 年 2 月 13 日付発表の業績予想値と概ね変わらぬ結果となりました。

また、経常利益においては、為替差益等による営業外収益が発生し、予想値を 7.2% 上回る結果となりました。

さらに、当期純利益につきましては、政府が求める賃金向上に対応した従業員給与の向上に努めた結果、期初想定していなかった、平均給与を向上させた企業が受ける税制優遇を受けられることとなり、また、グループ会社において繰越欠損金を多く抱える会社における収益改善が大きかったこともあり、予想値を24.2%上回る結果となりました。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成26年6月9日)	前期実績
基準日	平成26年12月31日	同左	平成25年12月31日
1株当たり配当金	27円00銭	22円00銭	8円00銭
配当金総額	400百万円	-	116百万円
効力発生日	平成27年3月26日	-	平成26年3月31日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

(2) 理由

当社は、利益配当につきましては、平成26年12月期より連結配当性向30%とすることに基本方針を変更しております。

また、内部留保につきましては、財務体質の強化と今後の事業展開への有効投資に充当することで企業価値を高めてまいりの方針であります。

このような方針のもと、平成26年6月9日に公表した平成26年12月期の期末配当金の予想は1株当たり22円でしたが、業績動向等を総合的に勘案した結果、1株当たり5円増配し27円といたします。これにより、第2四半期末配当（上場10周年記念配当、1株当たり8円実施済）を合わせた年間配当金は、1株当たり35円となります。

(ご参考) 年間配当の内訳

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前期実績（平成25年12月期）	5.00	8.00	13.00
当期実績（平成26年12月期）	8.00	27.00	35.00
来期予想（平成27年12月期）	0.00	35.00	35.00

※平成25年12月期第2四半期末配当金5円は、東京証券取引所市場第一部指定に関する記念配当であります。また、平成26年12月期第2四半期末配当金8円は、上場10周年に関する記念配当であります。

以上